

鉄を自分の手で製品に変えていく工程に魅力を感じたという古田さん



## 女性や若手を登用し 会社の新しい活力源に

### 松本機械工業株式会社

#### 初の女性の採用で 旧来の固定観念変わる

松本機械工業は日本のものづくりを下支えする企業だ。同社が製造するのは、パワーチャックやNCロータリーテーブルといった工作機械に欠かせない高精度な要素機器で、国内はもとより、その取引先はアメリカやヨーロッパ、ASEAN各国に及ぶ。

そんな松本機械工業では、ものづくりの現場に初の女性社員を採用したことで、同社に潜在していた「現場は男の職場」という固定観念が覆ったという。

きっかけは、2018年に採用した古田さんが現場に興味を示したため、松本要社長は「彼女は目を見張るスピードで仕事を覚えてくれた上に、男性ばかりだった職場の雰囲気明るくなり、整理整頓も行き届くようになった」と振り返る。

そもそも、同社は決して女性の活躍の場がない会社ではない。女性社員の割合こそ少ないが、開発や営業、総務、管理部門で「女性社員が主力を担ってくれているし、女性管理職もかなり以前からいた」（松本社長）。

とはいえ、現場に関しては、「男性だけを募集したり、女性をはじいたりしたこともなく、女性の応募がまったくなかった。ただ、汚れる、危ない、

力も要る仕事だから、男でなければ務まらないだろうという意識もどこかにあった」と、堀内龍一総務部長は説明する。

#### 子育て世代の視点で 現場は意外に働きやすい

現場に一人目の女性社員が誕生したことで、同社はそれほど間を置かず二人目、三人目と続けざまに女性社員を現場に採用できた。その大きな要因となったのが、工場見学に来た際に、現場で女性社員が楽しそうに働く姿があることだったという。

特に、現場二人目の女性社員で、二人の子育て中でもある新田さんは、「育休取得後、しっかり復帰している女性社員が多いことも心強かった」と同社の環境に魅力を感じたという。さらに、会社側にとって予想外だったのが、「一人一人独立した作業が多いのでスケジュールをコントロールしやすく、家庭があっても自分のペースで働ける」（新田さん）と、子育て世代が現場に働きやすさを感じたことだった。

また、同社では現場に女性社員を採用する前年、初の30代管理職を二人登用している。従来までの管理職は皆40代以上の登用

だったが、松本社長は「勤続年数や年齢にかかわらず、意欲があり成果を出せる人間にポジションを与えることで、会社の新しい成長エンジンにしたいという思いがあった。現場への女性採用もその一環」と話し、女性や若手に期待を寄せる。

同社では、人事にこれまでよりも柔軟に多様性を取り入れ「全員活躍の職場づくり」をしていくことで、会社の活力を高めていく方針なのである。



松本社長（後列中央）、堀内総務部長（後列左）、ものづくりの現場の楽しさを知る女性社員の皆さん

#### DATA

■所在地/金沢市示野町二 80 ■代表者/松本 要 ■設立/1948年 ■従業員数/89名(男性:74名/女性:15名)  
■事業内容/工作機械、周辺機器の製造販売